

のざき正志通信

通信 Vol. 7

2007. 4 月号 (春号)

のざき正志後援会発行

三条市議会議員

ご挨拶

いつもお世話様です。

平成 19 年度 3 月定例会の報告をさせていただきます。また、市議会議員となりまして 1 年がたちました。皆様から常日頃より声をかけて頂き、感謝申し上げます。本年は夏に参議院選挙が行われます。党员、支持者の先頭に立ち、闘ってまいります。今後も「大衆と共に」を忘れることなく、皆様の期待に応えるため、しっかり働いてまいります。皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様からの声で改善できました。



北四日町地内(蓋の改善)



新光町地内(消雪パイプの電柱)



下保内地内(鉄板の蓋の設置)



三柳地内(側溝蓋の設置)

野崎正志のホームページ 検索の仕方

- 1・(Yahoo で検索)…『野崎正志』…『常に現場から三条市議会議員野崎正志のホームページ』
- 2・直接入力…http://www.komei.or.jp/giin/sanjo/nozaki_masashi/
- 3・『全国議員サイト』からも検索できます

野崎正志の平成19年3月定例会(3月8日2番目)の一般質問の概略を報告します。

(質問) 1・コンパクトなまちづくりについて

五十嵐川の改修で風景が変わり、市街地は空き地とシャッターを閉めた店が多く目立つ。昨年まちづくり三法が施行された中で中心市街地から人が離れていくことが懸念されている。高齢者の孤独など地域の衰退も心配される。こうしたことをどのように考えているのか。総合計画では拡大、拡張を前提とした都市のあり方から中身を濃くしていく、効果的な市街地の整備などが進められようとしている。どのように推進していくのか。コンパクトシティー構想をどのように三条市として生かしていくのか。

(答弁) 国定市長

総合計画の中で今後の方向として、土地利用の適正化などコンパクトなまちづくりを進めるとしている。都市計画マスタープランでもコンパクトで機能的なまちづくりに向けて、具体的な取り組みについて審議して頂いている。新市建設計画で示している大まかなゾーニングは三条市には望ましい姿と思っている。これが基本的にしっかりと生かされる中でまちづくりが進んでいけばと考えている。中心市街地活性化法に基づく基本計画策定について協議する場を設けて生きたい。

(質問) 2・環境行政について

(1) ごみの手数料の改定の効果などで、ごみ排出量の削減が進んでいる一方で、事業系ごみ排出抑制につながっていない。ごみの減量化の状況はどうなっているのか。20%削減の目標値は達成できるのか

(答弁) 長谷川市民部長

15年度に家庭ごみの有料化を実施して以来、ほぼ20%の削減となっており、減量化の意識は定着化している。事業系ごみは年々増加する傾向にある。リサイクル可能なものも多く含まれており、資源化の取り組みをさらに進めなければならない、事業者への説明、食品残さの堆肥化など、実効性ある取り組みを進めて、平成25年度には目標値にしていきたい。

(2) 道心坂埋め立て処分地の今後の見通しは、水害ごみの埋立で予定をはるかに超えている。残存容量はどうか。埋立完了後の見通しはどうか。

(答弁) 佐藤助役

第一期、第二期合わせて七万九千トンが埋め立て容量である。昨年までに二万九千四百十七立方メートルとなっている。7.13水害の影響で埋立完了が二年早まる見込みとなっている。当初予定の平成25年まで何とか利用すべく、焼却灰については県外に搬出している。延命策を検討している。構造的な調査も進めて延命化に向けた結論を出して生きたい。

のざき正志 後援会

住 所：〒955-0057 三条市新光町8-4

TEL/FAX：0256-35-2341

http://www.komei.or.jp/giin/sanjo/nozaki_masashi

お気軽にご相談ください。